

各地で「斉の神」



12日から13日にかけて、上越市内各地で小正月の伝統行事「斉の神」（歳の神、賽の神、障の神とも。西日本では差義長や左義長、全国的には「どんど焼き」といい、前年に飾った正月飾りなどを藁とともに燃やして無病息災を祈願する年中行事。この火にあると風邪を引かないとか、灰を小屋に入ると牛が丈夫になる、書き初めを焼き、その灰が高く上がると書が上手になるなどの言い伝えがある）が行われました。

市民の中にこうした伝統行事が根付き、受け継がれていくことは大切なことです。



大山温泉あさひ荘(大島区) 7月1日営業再開へ

市が指定管理者を募集開始

上越市は11日、大島区田麦にある大山温泉あさひ荘の指定管理者の募集を開始しました。

募集要項によると、応募資格は、本社又は営業所・活動拠点が大島市内にある法人などで、希望者は指定管理者指定申請書に事業計画書・収支計画書などを添え、今月末までに大島区総合事務所産業建設グループに申し込むこととされています。

指定期間は平成25年7月1日から平成28年3月31日までの2年9か月間となっています。



再開の要望が出されていたあさひ荘ですが、これまで市としての再開の方向性が確定したことになりました。

あとは、熱意のある事業者が応募してくれることで、具体的な営業再開のめどがつかえます。

これまで、休業中の施設の維持管理に心を砕いてこられた関係者の苦勞と、地元区民の悲願に報いるためにも、再開実現を願っています。

市議会報告に反響続々

日本共産党議員団は、1月14日の各紙朝刊に、昨年12月議会を中心とした市議会報告を折り込みました。

議会で議論になった原発再稼働問題や、(仮称)厚生産業会館をめぐる問題を取りあげています。

新聞に折り込まれたその日から、多くの市民のみなさんからのご意見が相次いでいます。

「原発再稼働にしっかり反対できないのは、議会として情けない」「厚生産業会館は無駄だと思います。しっかり頑張ってください」「市民注目の問題を真っ正面からとりあげてくれてうれしい」「医療費のことをとりあげてくれて感謝している。これからもよろしく頼む」といったご意見が主です。

議員団としては今年度初の発行ですが、これからも市民のみなさん向けに、しっかり広報活動を進めます。

議員団の新しいホームページ



日本共産党上越市議会議員団は、このほど新しいホームページを開設しました。

URLは次の通りです。
<http://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 3 4 7 2013年1月20日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)